

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6			療育スペースはトラブルや怪我を避けるため、手順書や掲示により分かりやすく導線を引き、空間を構造化しています。
②	職員の配置数は適切であるか	4	2		利用児童が増員し、送迎する小学校も増えたため、送迎時間に手薄になることが心配されたが、送迎職員を配置する事により改善されています。
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	3	対象児童の特性に合わせて飛び出しにくい導線等をつくるため、出入口が狭いなどの構造があります。
④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			毎日行われる昼礼や日課後の振り返り等で意見交換を活発に交わしています。
⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	4	2		年度末に保護者アンケートを実施し、保護者の方の意向をお聞きし、業務改善につなげています。特殊な療育プログラムの関係でお答えしきれないニーズもありますが、ご了承いただきながら子どもたちの成長を家庭と連携して支援しています。
⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			6	昨年度分の公表が遅くなりました。
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			6	第三者による評価は行っていません。
⑧	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	6			法人全体での職員研修を毎月 2 回以上受講し、保育・障害等分野を問わず資質向上の機会が確保されています。
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			子どもたちの個々の特性や子どもと保護者の方の困り感を分析し、事業所内でのモニタリングと保護者面談等を通して適切な計画の作成に努めています。

⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	1	職員育成と研修も兼ねてアセスメントツールの標準化を進めています。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			プログラムの概要は変わりませんが、細かい課題をチームで定期的に設定して工夫しています。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			⑩と同じです。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1	1	個別支援を除く集団のプログラムは毎日変えずに行っています。集団の規模や年齢に応じて、細かな対応は随時工夫しています。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		曜日、人数、子どもの状況に応じて個別計画をもとに大集団、小集団、個別の対応を分けています。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			毎日 13:30 昼礼の際に職員全員で申し合わせを行っています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1		その日のうちに出来ない日もありますが、翌日等になっても反省会を必ず行うようにしています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			個別日報、施設日誌を洩れのないよう記入に努めています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		日課の様子、教材の進み具合から児童発達支援管理責任者を中心に見直しの必要性の判断をしています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	3	3		ガイドラインについて職員への周知が至っていない現状なので、周知が必要な重要な箇所は読み合わせ等により改善していきます。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	5	1		現在担当者会議には管理者が出席しています。今後は児童指導員も同席し児童への理解を深めていきます。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を	6			保護者の方のご要望に応じて学校教育相談に同席させていただき情報を共有したり、毎月の下校時刻表をいただく際に連絡調整を行っています。

		適切に行っているか				す。
	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3	2	医療的ケアが必要なお子さんをお預かりする場合に備えて、契約時に契約書にて主治医等との連絡体制を整えています。現在のところ事例はありません。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6			保護者の了解を得て保育所、幼稚園、認定こども園や児童発達支援事業所等と情報共有に努めています。
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	2	現在のところ事例がありませんが、今後情報提供が必要なケースがありましたら適切に情報提供致します。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		6		児童発達支援センターが地域にない現状です。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	5	施設の目的が交流にないので行いません。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6			管理者が参加しています。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	6			子どもの状況を細かく職員同士でも話し合い、伝えるべきことは保護者面談にて伝えています。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	4	2		事業所と家庭で両輪で行う支援については丁寧に説明しています。また、必要があれば手順書の作成等の助言も行っています。
	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約の際にしっかり時間を設けて管理者より説明を行っています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			気になる事や悩み等がある場合、アプリ・メール・電話等により発信していただき、助言を行っています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連権を支援しているか	2	3	1	令和元年度は授業(療育)参観、成長事例の発表、アンケートの報告会を実施し、保護者同士の連携を支援しています。

③③	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情や意見については、すぐに管理者へ報告、職員間で共有、対応をしています。また、対応が難しい件に対しては法人へ報告を行っています。
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			SNS(自社 HP・インスタグラム等)により定期的に活動報告を行い、毎日の子どもたちの様子を個別で全保護者の方に連絡アプリにて報告しています。
③⑤	個人情報に十分注意しているか	6			利用児童の個人情報は鍵のかかる書庫に保管し、事業所外に持ち出しは行っていません。また、事業所外で個人が特定される情報交換は行っていません。
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			個人の特性に合わせて手段(例：口頭での約束のみ×→約束事はメモに残してお互いに持つ○)を変えて対応しています。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1	2	地域住民を招待する行事は現在行っていませんが、地域の方が無料で参加できる講演会を主催しました。法人本部で地域連携を行っています。
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2		ホームページにて防犯マニュアル等提示しています。職員間ではマニュアルを掲示する、読み合わせを行うことにより周知しています。
③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1		定期的に避難経路・避難場所確認を行い、通報の手順について迅速に対応できるよう訓練しています。
④⑩	虐待を防止するための職員研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1		日常的に活動の反省会等で虐待防止に努めて意見交換を行っています。今後研修も活発に行っていきたいと思っています。
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			契約時に契約書の書面にて説明し、保護者の方に理解を得ています。身体的虐待の身体拘束についての定義について、研修を行い理解を深めています。

	⑫	植物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		現在食事の提供は行っていませんが、長期休暇等お弁当を持参する事、おやつを提供する事に備え、契約時に申告と診断書の提出を求めています。
	⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		ヒヤリハットはすぐに管理者へ報告し、報告書を提出してその日のうちに職員へ周知しています。また月ごとに事例を職員会議にて改めて共有していきます。

令和2年10月1日